

【国語】

<p>■児童の状況</p>	<p>[話すこと・聞くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたいことや考えたことを話そうとする意欲のある児童は多いが、順序立てて相手に伝わりやすいように話すことができる児童は少ない。 <p>[書くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや調べたこと、感じたことなど、事実に基づき文章を書くことができる児童もいるが、自分の意見を書く力が十分でない児童が多い。 <p>[読むこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読 一人読み、全体読みなどで上手に読めるようになっているが物語の全体像を具体的に想像することに課題のある児童が多い。 <p>[言語事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字辞典や国語辞典などの使い方は知っているが、活用できている児童はあまり多くない。
<p>■指導についての課題</p>	<p>○年間を通して【読み解く力】の育成に向けた授業革新を行い、6つの基礎的読解力を伸ばしていく。</p> <p>[話すこと・聞くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相手に伝わるように順序よく話す」「大事なところを聞き落とさずに聞く」ことが課題である。 <p>[書くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見をもつこと（賛成か反対か）はできても、根拠を明らかにして書くことが課題である。 <p>[読むこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文や説明文については、語句の意味を的確に捉え、内容を読み取る力を伸ばすことが課題である。 <p>[言語事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語・述語・接続語・修飾語などの正しい表記の仕方が身に付いていない。 ・漢字の読み書きの力を定着させ、日常的に使用することが課題である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>○授業中にInput・Think・Outputの活動を取り入れ、思考時間、対話の時間の確保と表現力の向上を図る。</p> <p>[話すこと・聞くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考する時間を確保し、一人ひとりが自分の考えをしっかりとるにする。友達との意見交換をペアや小グループなどで行い、自分の考えと比較したり組み合わせたりして、よりよい考えを創り出す場面を設定する。話し方・聞き方のポイントを例示し、課題に沿って取り組めるようにする。パターン化することで日常の対話活動につなげやすくする。 <p>[書くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での学習に加え、朝学習の時間に自分の考えを書く課題を取り入れることで書く力の向上を図る。 <p>[読むこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中の言葉や表現に着目して読み取りをしたり、文章読解のプリントに取り組んだりすることで正しい読み取りが行えるように練習する。 ・読書指導を充実させ、本に親しむ場を多く設定する。 <p>[言語事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習、漢字テストによる定着を図るとともに、ノートに考えなどを書く際に既習漢字を正しく使えるように指導する。 ・語彙力を育てるため、辞書や辞典などを活用する機会をさらに増やし、言葉に関心をもたせる活動を行う。 ・低学年は、MIMの教材を活用し、言語のつまずきを解消していく。